地域とともにある学校づくり　滝川市のコミュニティ・スクール

たきかわCS通信

きずな 絆

滝川市教育委員会 教育総務課　令和2年　1月 29日発行　　ー 第 25 号 ー

滝川市のコミュニティ・スクール
第４回　明苑中学校区学校運営協議会 終了

菅原寿一主幹教諭

1月23日(木)18時30分より，第４回明苑中学校区学校運営協議会が開催されました。

司会進行は事務局校である明苑中学校 菅原寿一主幹教諭により，スムーズに進められました。

開会の後，**貝之瀬雅紀会長**より，
「現在，地域と連携し，新しい学校を創っていく取り組みをしています。子どもたちのために，みなさんと力を合わせ実現に向け，知恵を出し合いながら協議して参りましょう。また，評価については，現スタイルに合わせた学校づくりとしてどうであるのか，率直な評価をお願い致します。」
という内容のご挨拶を頂きました。

貝之瀬雅紀会長

三浦拓也 地域コーディネーター

報告事項では，**三浦拓也地域コーディネーター**より，議案通りの**会務報告**がありました。
また，協議内容について，下記の通り，順番変更の連絡がありました。

(1)学校関係者評価について【明苑中学校】
(2)小・中学校の状況について【各学校事務局】
(3)各部会の活動について
(4)滝川第三小学校及び東小学校の評価について

悪七広仁教頭

宮本千裕校長

協議事項に入り，まず，**悪七広仁教頭**より，**明苑中学校**の**学校関係者評価**について別紙資料の通り，**報告**がありました。
また，**宮本千裕校長**より，まとめとしてのお話がありました。

① 学校経営デザインシート
② 各種調査・アンケート結果
③ 今年度の重点説明資料

<各委員から出された主な質疑応答・協議>～簡略・抜粋　○質問　◇見解　△意見・要望

○　各種・調査アンケート結果で，スマホはどの程度使用しているのか。
◇　**使用時間「2時間以下」という目標に改善されつつあるが，最多で6時間使用の生徒もいる。今後も指導を継続したい。** △　**スマホを使用する時間が長くなると家庭学習の時間が少なくなる。学力の二極分化，学力の低下に繋がる。また，スマホのデータを使用すると学力の定着が悪い，脳に悪影響を及ぼすという研究結果もあるなど問題も多く懸念を抱く。家庭学習に対する親と子の見解の相違も気になる。**
○　教員の超過勤務が過労死ラインを超えているが，それについて詳しく聞きたい。
◇　**部活動を受け持っているか否かでの差も大きい。部活を持っていると土日合わせて8時間となり，80時間以上の超過勤務の教員もいる。今後も改善策を講じていく。**
○「学習習慣の定着のために適切な指導を受けているか」について，親は58%，子は90%と差がある。このギャップをどうとらえるべきか。
◇　**保護者と互いの理解を深めるための取り組みが必要である。今後，伝え方や発信の仕方を講じていきたい。**

次に，**小学校の状況**について，
滝川第三小学校　澤口純一教頭，
東小学校　堤　雅宏教頭より，
報告がありました。

澤口純一教頭

堤　雅宏教頭

<各委員から出された主な質疑応答・協議>～簡略・抜粋　○質問　◇見解　△意見・要望

○　滝川第三小学校は，PTA役員をどのように決めているのか。
△　**次年度より，学年から6名を選ぶなど，どのように決めるのかは，現在，検討中である。**
○　冬休みの学習教室に，明苑中学校からボランティアの生徒が来ているが，決め方や同じ子なのか教えてほしい。
◇　**希望者を全員小学校に派遣している。出身校を希望する生徒が多い。**
○　東小学校の秋田県視察研修の成果を具体的に教えてほしい。
◇　**家庭と連携しながら，学習習慣の定着を確立していた。例として，親子で同じ本を読み感想文を書く「親子読書感想文」は全家庭が提出し，学校に掲示している。また，家庭学習ノートに保護者がコメントを毎日書き学校に提出し，担任も書いて返却する。**

その後，各部会の活動について，貝之瀬会長から，コミュニティ・スクール研修の内容に関する報告がありました。

全体会議の様子

最後に，学校関係者評価書記入用紙の集約締め切り(1月31日)と第5回運営協議会の開催日(2月13日)の連絡がありました。

滝川第三小学校評価委員

閉会後，滝川第三小学校及び東小学校に分かれ，学校関係者評価について協議しました。

東小学校評価委員

大寒が過ぎ，まだ厳しい寒さが続く中，委員の皆様の熱心な協議により，実り多き会議となりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。